

◇ 弁護士相談
10月3日(金) 午後1時半～

◇ 社労士相談 } 支部まで
◇ 法人設立相談 } お問合せ
◇ 税務記帳相談 } 下さい

※いずれも支部へ電話で予約してください。

村山大和

発行者
東京土建一般労働組合
村山大和支部
武蔵村山市中央3-7-1
電話 042(563)3261
発行責任者 白倉 良道

東京土建村山大和支部ホームページ <http://www.murayamayamato.jp> 東京土建 村山大和支部



士気を高める団結がんばろう!

講演終了後、原田組織部長による行動提起がされ、2025年度の支部スローガン『奮闘奮起2000名支部復活に向

全分会が1%の実増達成を!

講演終了後、原田組織部長による行動提起がされ、2025年度の支部スローガン『奮闘奮起2000名支部復活に向

2000名支部復活へ 仲間を増やす行動月間始まる

8月31日(日)、「秋の仲間を増やす行動月間活動者会議兼出陣式」が武蔵村山中部地区会館で行われました。

亀澤執行委員長のあいさつから始まった会には、本部組織部より伊藤専従常任を迎え、東京土建の歴史から要求実現をしてきた例に触れ、現在、建設業を取り巻く情勢に声を上げる必要性、そのためには組織強化が不可欠であること。また講演の中では、仲間を増やすための具体的な方策として訪問対話を挙げ、会の参加者、書記局員で訪問時のロールプレイングを行い、会場がどっと沸く場面もありました。

法人設立・厚生年金 建設業許可・労災加入 組合が全て相談にのります!!

お困りの事がありましたら
悩む前にまず東京土建に
ご相談ください。

朝露

今年の夏も40度が迫る猛暑が続いたが日本経済は冷えてしまっている。7月の倒産件数が前年度比0.8%増の961件となり、今年度最多となった。おもな要因は物価高と人手不足により、中小零細企業の資金繰りが悪化した結果と言える。またこれらに付随する結果として、所得税、消費税などの国税の滞納も前年度比24%増と苦しい状況だ。▼この状況に政府は有効な手立てを何一つとして取れていない。物価高騰対策として、一時的なバラマキには積極的だが、税収が減るような政策には極めて消極的だ。今の国民生活を勘案するに、国民の可処分所得を増やす政策が絶対的に必要であることは自明であり、消費税減税は待ったなしの状況だ。▼東京の最賃が1226円になったが、私たちが掲げている1700円にはまだ遠く、声を上げ続けるべきだ。そして今、私達が取り組んでいるハガキ要請で奮闘し、新たな国会議員、国会会派に向けて私達の命の綱である建設国保の重要性をしっかり訴えて行きたい。

(A・K)

各分会の行動日予定

分会	日程
大和東	9月11日、19日、24日 10月 2、12、13、16、22、30日
大和南	9月11、14、18、24日 10月 1、11、16、22、29日
大和湖畔	9月13、19、24日 10月 1、13、15、22、30日
大緑	9月12、13、19、25日 10月 2、14、16、19、22、30日
えがしな	9月11、19、21日 10月 2、11、12、14、16、23、30日
野山北	9月10、11、18、19、24、25日 10月1、2、11、13、15、16、22、23、29、30日
和	9月11、19、25日 10月 2、13、16、23、26、30日

行動日は分会センターで集まるっ!

8月31日の「秋の仲間を増やす行動月間活動者会議兼出陣式」のなかで、各分会が行動日を決めました。まだ行動日に参加したことがない人もどんなことをやっているのかを見るに、一度センター

に足を運んでみてください。そして一人でも多くの仲間や新しい仲間が参加して、みんなで分会目標を達成できるよう一丸となって取り組みましょう。

8月の労災事故件数

村山大和支部における労災事故件数は、職人2件、一人親方2件でした。

災害	● 激突...1件 ● 動作の反動 1件
状況	● その他...2件

労災事故には保険証が使用できません。未加入者に声をかけ、労災保険の加入を呼びかけましょう!



教宣部が取材に伺います!

またこの月間中の新たな取り組みとして、教宣部員が各分会の行動日に取材へ行き、分会の取り組みを推進ニュースや機関紙「村山大和」で紹介いたします。他の分会の取り組みでいいと思ったところなどは、自分たちの分会にも取り入れ、良い所を共有して、全分会でこの月間を乗り切りましょう。

私の青春

No.362

子

子どもの頃から機械いじりが好きで、無線飛行機づくりに夢中でした。昭和43年ころ、今の武蔵村山五中の近辺は家も建物もなく自由に遊ばせてもらいました。

そ

して社会人となり、何となく気の向くままに仕事を覚え、27歳で独立をして35歳で法人化をしました。さて、趣味は海釣りが好きでして、一人で水深200から800メートルにいる深海魚を狙い、大島や初島沖に行きキンメダイ、アコウダイ、アカムツ、クロムツなどを釣り、43年ほど経ちました。特に相模湾の魚は、海水の質とプランクトンを豊富に食べているのでおいしいと評判です。ただ最近30、40年前と比べて海水温や生態系の変化、二酸化炭素排出の問題など、一人で操船して、一日に燃料である大量の軽油を海に排出するのは、少なからず自然を壊していると思うようになりました。2年前に船釣りはやめました。その代わり今は、15年前より始めた自転車通勤で秩父や奥武蔵の山々に行き、たまに自転車

和分会 福島 章 (給排水工)

で富士山5合目などに上って楽しんでいきます。

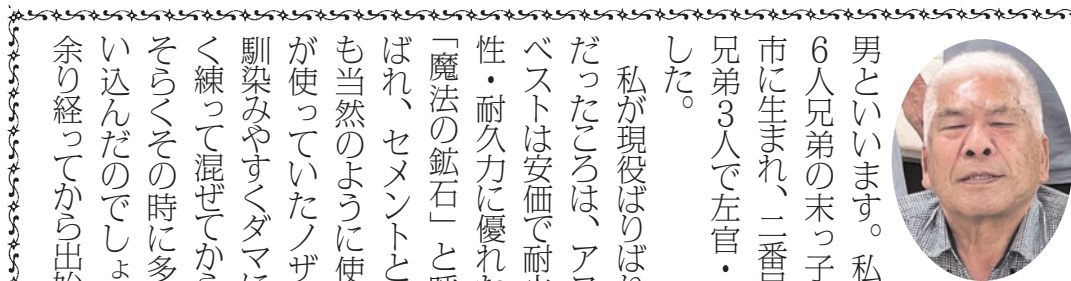
趣味で人生豊かに



8月7日、建設アスベスト訴訟の東京1陣、2陣訴訟で被告建材メーカーとの間で、歴史的な和解が成立しました。かねてより裁判所と原告・被告との間で和解協議が進められていましたが、争う姿勢を見せる建設アスベスト訴訟東京第1陣、2陣で本和解が成立したことは、今後の裁判に続く成果であり、なにより運動の大きな成果と言えます。しかしこれですべてが終わったわけはありません。未だに屋外作業の改修解体業者は和解の対象となっていないままです。また現行の建設アスベスト給付金制

建設アスベスト訴訟 歴史的な和解 勝ち取る

8月7日、建設アスベスト訴訟の東京1陣、2陣訴訟で被告建材メーカーとの間で、歴史的な和解が成立しました。かねてより裁判所と原告・被告との間で和解協議が進められていましたが、争う姿勢を見せる建設アスベスト訴訟東京第1陣、2陣で本和解が成立したことは、今後の裁判に続く成果であり、なにより運動の大きな成果と言えます。しかしこれですべてが終わったわけはありません。未だに屋外作業の改修解体業者は和解の対象となっていないままです。また現行の建設アスベスト給付金制



建設首都圏アスベスト訴訟の共同代表をしています。野山北分会の吉田重男といます。私は兄3人、姉2人の6人兄弟の末っ子として長野県の岡谷市に生まれ、二番目と三番目の兄たちと兄弟3人で左官・タイル業をしていました。私が現役ばりばりだったころは、アスベストは安価で耐火性・耐久力に優れた「魔法の鉱石」と呼ばれ、セメントと砂を混ぜる混和剤にも当然のように使われていました。私が使っていたノザワテリングは水に馴染みやすくダマになりやすいので、良く練って混ぜてから使っていました。おそらくその時に多くのアスベストを吸い込んだでしょう。その影響は40年余り経ってから始まりました。2011

度、国のみが拠出しており、この給付金法にアスベスト製造責任のある建材メーカーも支出を義務付けることが求められています。村山改正も求めています。武蔵村山市の両市に対して行いました。アスベストに度、国のみが拠出しており、この給付金法にアスベスト製造責任のある建材メーカーも支出を義務付けることが求められています。村山改正も求めています。武蔵村山市の両市に対して行いました。アスベストに

度、国のみが拠出しており、この給付金法にアスベスト製造責任のある建材メーカーも支出を義務付けることが求められています。村山改正も求めています。武蔵村山市の両市に対して行いました。アスベストに



平和祈念像の前で

原水爆禁止2025年 世界大会長崎に参加して



大和南分会 藤原 幹 男

8月7、8、9日の三日間で参加してきました。会場は長崎市民体育館にて約2700名の参加。128カ国からの参加となりました。15、6年前に一度、広島大会に参加した時より、参加国数が増えています。それはノーベル平和賞の受賞、また核兵器をなくそうとの思いが世界中に広がっている証しだと思います。会場は日本全国からの参加者たちの熱気であふれていました。特に若い人々の参加が目立ったように感じました。



大和南分会 進 藤 藤 男

この度原水禁世界大会2025長崎に皆様のおかげで参加できました。ありがとうございます。今回は早朝の飛行機のため、一緒へ行く藤原さんに羽田空港まで送ってもらった。私たちが武蔵村山市議の田村みつ子さんを団長に田村夫婦、藤原さんと進藤と東京代表団の一員として参加しました。当日は羽田空港が混雑のため出発が遅れ、また福岡空港では雷雨のため、地上作業が出来ず飛行機から降りることが出来ないなど、到着が

は今生きる私たちの大切な役割ではないでしょうか。今大会に参加し学んだこと、感じた事をたくさん組合員さんに伝えて行きます。『若い世代に真剣に未来を考えて欲しい』『しっかりと世の中を見つめていてほしい』。組合員さん皆さんのカンパで参加してきたこと、貴重な体験となりました。改めてお礼を申し上げます。産業の報告や海外代表からの発言がありました。午後は地域で取り組んでいることに関して、若者が積極的に発言していました。3日目は再び市民会館で全体集会へ。主に海外代表の発言となりました。途中で帰りの便への集合時間になりました。福岡に向かいました。最後に感じたのは多くの若い社会人・学生が参加していたことがうれしく感じました。各国からの参加者との記念撮影



各国からの参加者との記念撮影